旭日単光章を受章　黒田正明さん

１１月１２日、叙勲伝達式が役場で行われ、旭日単光章を受章された黒田正明さん（７区）へ、勲章などが伝達されました。

黒田さんは昭和５８年に町議会議員に当選以来、連続３期１２年の長きにわたり、町議会議員として地方自治の振興発展に貢献された功績が認められ、このたび表彰されました。

町議会をより身近に、もっと見やすく！

議会中継が変わりました！

町議会の中継は、議会中継システムの更新により動画共有サイト「YouTube」での配信に変わりました。

カメラやマイクシステムなどを一新し、映像は高画質に、音質もクリアになり、より視聴しやすくなりました。

場内のモニターでは発言者名や出席議員数などが表示されます。

これまで、パソコンや一部のスマートフォン端末などでしか閲覧できなかった生中継は、「YouTube」でのライブ配信となり、あらゆる端末で視聴できるようになりましたので、町議会開会の際はぜひご利用ください。

【視聴方法】

■町ホームページから「YouTube」へアクセス

町ホームページへアクセスし、長沼町議会▶議会中継▶議会中継（生中継）と選択していくとYouTubeの動画配信ページに繋がります。

議会中継（https://www.maoi-net.jp/gikai/chukei/）

【問合先】長沼町議会事務局（☎88-0889）

マオイ活動だより

「パイミー」と遊びの日

観光振興担当
古川　喬士さん

みなさんこんにちは、地域おこしの古川です。

10月の終わり、僕が「お師匠様」とたまに呼んでいる中村直弘さんから、「31日にパイミーでハロウィンをするよ。良かったら来て。仮装歓迎です。」というメッセージをもらいました。

北米の大学町に住んでいた頃、10月31日は、学生や教授、キャンパスで働く人もアニメや映画、ホラー世界の住人の仮装をして1日を過ごしました。日本で晴れ着を着る正月のように、現代の西洋でこの日は、1日だけ日頃のルールや常識が変質する、楽しい「ハレの日」として定着しています。

コロナ禍によって一層進行したように見える近年の傾向として、日々の同質化や機械化があると感じています。メディアは朝から夜まで何がしか騒めき、小売販売店は、常に明るく照らされ商品に溢れていますが、今日と昨日の違いはあまりない。その連続する均質さに、なんとなく息詰まりを感じている人は僕だけではないと思います。そんな時、この遊びの日の誘いをもらい、ありがたく僕も参加させていただきました。

ハロウィン当日、2歳の娘と一緒に仮装してパイミーに出かけました。パイ屋の前では子ども連れや夫婦、幾人かのほろ酔い人が行き交い、お互いの仮装を喜び、楽しんでいました。

店の中では、エルヴィス・プレスリーに扮したカールさん、スターウォーズのアミダラ女王になった中村さん、バナナの被り物をしたカズモ君がお客さんと笑い合い、カールさんの息子のレイ君は、お母さんのともこさんと一緒にウォーリーの格好で、子どもたちに手作りのキャンディを配っていました。

みんなが少しだけ羽目を外して、お互いの仮装を賞賛して笑い合っている店の周りには、本物の祝祭の空気、ある種の上昇気流がありました。

オーストラリアから移住した音楽通で食通のカールさん、遊びの天才中村さんが展開するミートパイとコーヒーの店、「パイミー」は長沼にグルメブームだけではなく、良い意味でのクレイジーネス、瑞々しい遊びとお祭りの心もさりげなく起こしていると感じながら、被った仮面のままカズトモ君が淹れてくれたコーヒーをすすりました。

道の駅マオイの丘公園

シティプロモーション担当
佐野　亜沙美さん

手から手へ、食のおいしさと楽しさをつなぐ、世界の食材を楽しく買い物ができるお店「カルディコーヒーファーム」を展開している「キャメル珈琲」。

旧南長沼小学校は「キャメル珈琲」のドリップコーヒーの工場に生まれ変わります。

今回は、道の駅マオイの丘公園、ながぬま温泉の企画にも携わる「キャメル珈琲」齋藤さんにお話を伺いました。

齋藤さんは、長沼のことが知りたくて、今年の7月から長沼に住み始めたとのこと。「長沼は移住して来られる方が多いまち。レベルも感度も高い新しいお店ばかりで驚き、その新しいものを受け入れるまち」だと話されます。

ランチやおやつタイムで利用されるお気に入りのお店もいくつかあり、町内だけではなく近郊のお店もすでに詳しく、気になるお店も教えてくれました。

たくさんのまちの方々とお話をされた中で、「カルディコーヒーファーム」を知ってもらえていること、「期待しています」「楽しみにしています」とうれしい励ましをうけ、さらに「頑張ろう」と齋藤さんは気合いいっぱい。

道の駅の直売所や町内のお店で食事をしていても、長沼はおいしい素材がたくさんあり、長沼の食材や文化をたくさんの方に伝えるのも食を大切にする「キャメル珈琲グループ」として大切なことと感じられていて、長沼の農産物を加工して生かす、道の駅の売店でお土産に買っていただけるような商品をいくつか検討されているそうです。

ドライブや旅行、仕事の途中で道の駅に寄る人が多いので、「長沼の道の駅でアレ食べたい！」「コレ買いたい！」と、目的を持って来てもらえる名物を増やし、あまり道の駅に行かない地元の人も楽しめる場所、寒い冬でもゆっくりできる空間を造りたいと齋藤さん。

来春には、様々なイベントをはじめ、これは私の想像ですが、道の駅の建物内が、劇的に…ほどよく…いい感じに変わるのではと思われます。